

中学歴史プリント（過去問類似）

平安時代

名前

得点

/8

問1 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、それまでの唐風の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収し、貴族を中心に発達した日本独自の文化を何と呼びますか。 （2023年 宮城県公立入試 類似）

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 弘仁・貞観文化 4. 東山文化

問2 奥州藤原氏が平泉において、京都の文化に劣らないほど壮麗な仏教文化を発展させ、長期間にわたって独立に近い統治を維持できた理由として最も適切な説明を選びなさい。 （2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 北上川流域などで産出される豊富な金と、北方との交易による莫大な経済力があったから。 2. 鎌倉幕府から東北地方の防衛を公式に委託され、多額の補助金を受けていたから。 3. 多賀城を拠点に陸奥国の国司を世襲し、朝廷の軍勢力を直接動かしたから。 4. 西日本の有力な大名と結びつき、瀬戸内海の制海権を握っていたから。

問3 平安時代の中期に、日本の風土や日本人の感情に合った独自の文化が発達した背景には、当時の対外関係が大きく影響しています。その背景として最も適切な理由はどれですか。 （2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 菅原道真の建議により遣唐使が廃止され、中国の文化を直接取り入れる機会が減り、独自の文化が進んだため 2. 鎌倉幕府の成立に伴って武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれるようになったため 3. 聖武天皇の時代にシルクロードを通じて西アジアなどの国際的な文化がもたらされ、日本独自の美意識と融合したため 4. 朝鮮半島の白村江の戦いで敗れた結果、大陸との交流が完全に遮断され、地方の豪族が独自の文化を形成したため

問4 奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂は、建物の内外に金箔が施された豪華な建築として知られています。この建築物が建立された背景にある、阿弥陀如来を信じて死後に極楽浄土へ往生することを願う仏教の考え方を何と呼びますか。 （2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 浄土教（浄土信仰） 2. 禅宗 3. 日蓮宗 4. 密教

問5 894年に遣唐使の派遣が停止された理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2023年 大分県公立入試 類似）

1. 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため 2. 白村江の戦いで唐の軍勢に敗北したことにより、国交が途絶えていたため 3. 遣隋使の派遣が始まったことで、中国との外交ルートが新しくなったため 4. 唐が滅亡し、新しく宋（北宋）が建国されたことで交流の必要がなくなったため

問6 平安時代の政治状況について、ドイツ出身のエマさんと日本の高校生が会話をしています。この時代の地方政治の実態を説明する内容として正しいものはどれですか。 （2023年 奈良公立入試 類似）

1. 一部の有力な国司は受領と呼ばれ、任地に赴いて徴税に励む一方で、私的な蓄財を行うなど地方政治が混乱する要因となった。 2. 国司は中央から派遣される役人であったが、この時期にすべて武士へと置き換わり、封建的な主従関係が確立した。 3. 地方政治の乱れを解決するため、天皇が直接地方を統治する親政が始まり、国司制度は完全に廃止された。 4. 全国の農村で二毛作が一般化し、経済的に豊かになった農民が国司の権限を代行するようになった。

問7 東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 （2021年 大阪公立入試 類似）

1. 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため 2. 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため 3. 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため 4. 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため

問8 東北地方の歴史について述べた次の文のうち、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。かつて朝廷軍を打ち破ったこともある蝦夷のリーダーと、その後に派遣された政府側の人物の関係に注目して選びなさい。 （2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。 2. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された源頼朝を北九州で迎え撃った。 3. 蝦夷の指導者であった平将門は、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に敗北した。 4. 蝦夷の指導者であった足利尊氏は、朝廷から派遣されたアテルイによって捕らえられた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国風文化	894年に菅原道真の建議で遣唐使が停止されると、大陸との公的な交流が途絶えました。これにより、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の生活や感情に合わせる動きが進み、かな文字の使用や寝殿造、大和絵といった日本独自の様式が確立されました。
問2	答え 1 北上川流域などで産出される豊富な金と、北方との交易による莫大な経済力があつたから。	奥州藤原氏の強さの源泉は、現在の岩手県などで採掘された大量の金にありました。この金を京都の朝廷や貴族に献上することで良好な関係を維持しつつ、北方海域を通じて現在のロシア沿海州方面などとも独自に交易を行っていたとされています。この莫大な経済的基盤が、平泉の華麗な都市建設を可能にしました。
問3	答え 1 菅原道真の建議により遣唐使が廃止され、中国の文化を直接取り入れる機会が減り、独自の消化が進んだため	894年に菅原道真の提案で遣唐使が廃止されると、大陸の最新文化を直接模倣する段階から、これまでの文化を日本の風土や生活感覚に適應させる段階へと移り変わりました。これにより、住居では寝殿造、衣服では十二単、文学ではかな文字による和歌や物語といった、日本独自の「国風文化」が開花することとなりました。他の選択肢は、天平文化や鎌倉文化などの異なる時代背景を説明したものです。
問4	答え 1 浄土教（浄土信仰）	平安時代中期以降、社会の混乱や無法思想の広まりの中で、念仏を唱えることで極楽浄土に生まれ変わるという浄土教が貴族から庶民まで広く流行しました。中尊寺金色堂は、度重なる戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、東北の地に理想の浄土を再現しようとする祈りを込めて建立されました。
問5	答え 1 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため	遣唐使の停止には、大きく分けて2つの理由があります。一つは、唐国内で反乱が起きるなど国勢が衰えており、命を懸けて派遣しても得るものが少なくなっていたこと。もう一つは、東シナ海を渡る航海が依然として困難で、多くの犠牲者を出すほど危険だったことです。
問6	答え 1 一部の有力な国司は受領と呼ばれ、任地に赴いて徴税に励む一方で、私的な蓄財を行うなど地方政治が混乱する要因となった。	平安時代の国司には、任地へ行かない遙任のほかにも、実際に任地に赴く「受領」もいました。受領は徴税の権限を強く持ち、私欲を肥やす者も多く現れたため、農民がその暴政を訴えるなど、地方政治の混乱が深刻化しました。武士の主従関係や二毛作の一般化は後の時代に見られる特徴です。
問7	答え 1 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため	源頼朝は、対立した弟の源義経が平泉へ逃げ込んだことをきっかけに、奥州藤原氏への攻撃を開始しました。しかし、その背景には義経の保護という口実だけでなく、当時東北地方で独立した強大な勢力を持っていた奥州藤原氏を排除し、全国的な支配を確立したいという頼朝の政治的な目的がありました。
問8	答え 1 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。	東北地方に住んでいた蝦夷の人々は、アテルイという指導者のもとで一時は朝廷軍を撃退するほどの激しい抵抗を見せました。しかし、桓武天皇によって派遣された坂上田村麻呂が軍を進め、現在の岩手県に胆沢城を築くなどして支配を強めると、アテルイは最終的に坂上田村麻呂に降伏しました。